

# 岩肌仕上げ 施工の手引き

## 適用品番

ジョリパットアルファ JP-100シリーズ

ジョリパットノンフリーズ JPW-100シリーズ

【初版】平成22年 4月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	1液水系アクリルシーラー (水で50~100% 希釈して使用)	18kg/缶	約135~240 m <sup>2</sup> (水希釈量で 変動)
	<u>ジョリパットシーラー JS-410</u>	<u>1液溶剤系 アクリル系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約75~100 m<sup>2</sup></u>
	<u>セーフシーラー JS-800</u>	<u>1液水系珪砂シーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約80~106 m<sup>2</sup></u>
主材	<u>ジョリパットアルファ JP-100 シーズ (ジョリパットノブリーズ JPW-100 シーズ) 標準色 JP(W)-100T (...数字) 特注色 JP(W)-100 (...英字、...数字)</u>	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	約6 m <sup>2</sup>
骨材	JF-1	寒水石(白竜) 1 厘	20kg/袋入り	約6.3 m <sup>2</sup>
	JF-3	寒水石(白竜) 3 厘	20kg/袋入り	約12.6 m <sup>2</sup>
	JF-5	寒水石(白竜) 5 厘	20kg/袋入り	約25 m <sup>2</sup>
	JF-7	寒水石(白竜) 7 厘	20kg/袋入り	約25 m <sup>2</sup>

セーフシーラー JS-800 は2kg×2個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約20~25 m<sup>2</sup>/セット)

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

ジョリパットノブリーズの使用目安温度は-6 ~ 10 度です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

< 主な施工道具 >

- ・ステンレスゴテ (角ゴテ)
- ・スチロールゴテ (スタイロフォームのような発泡スチロールでも可)
- ・仕上げゴテ (ステンレス製の腰の柔らかいもの)

< 下地調整 >

モルタル金ゴテ押さえ (平滑) など

<岩肌仕上げ施工方法>

<ランドブリック仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	9~18%
塗 布 量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-410の場合

配 合	JS-410	15kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。

3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

・JP(W)-100 シーズを無希釈で0.9kg/m<sup>2</sup>となるよう金ゴテにて全面に平滑に塗布してください。

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 中塗り

配 合	<u>JP(W)-100 シーズ</u>	20kg
	寒水石 7厘	8kg
	寒水石 5厘	8kg
	清 水	1%
塗 布 量	約3.5kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ステンレスゴテで平滑に配り塗り。	

追いかけて(5分以内)

4. パターン付け

- ・ スチロールゴテを円状に動かし、骨材がランダムに転がしてください。(図 - 1)
- ・ スチロールゴテに付着したジョリパットは、濡れウエスやブラシなどで洗い、常にきれいに保ってください。

夏期 24時間以上  
冬期 48時間以上  
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

5. 主材 上塗り

配 合	<u>JP(W)-100シリーズ</u>	20kg
	寒水石 3厘	6kg
	寒水石 1厘	12kg
	清 水	2割
塗 布 量	約1.0kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ステンレスゴテで平滑に配り塗り	

追いかけて(5分以内)

6. 仕上げ

- ・ 角ゴテのエッジ部分に力をいれ(エッジをたてる) 材料を削り取るようにパターンをつけ、コテ波をつけてください。(図 - 2)

<施工のポイント>

- ・ スチロールゴテを円状にランダムに動かし、寒水石7厘がランダムに転がるようにパターン付けを行ってください(図-1、エンシェントブリック仕上げと同等です)。
- ・ 骨材が転がりにくい場合は、スチロールゴテをきれいに洗淨してから、パターンを付けてください。

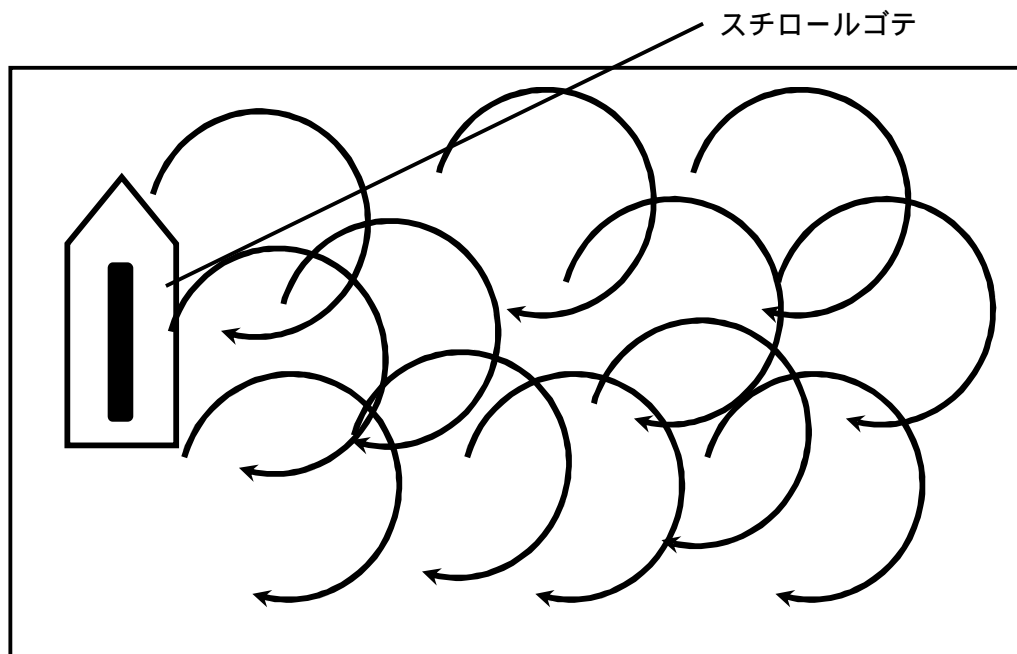


図 - 1

- ・ 角ゴテのエッジをきかせ、材料を削り取るようにコテを下から上に動かし、横方向のコテ波をつける(残る)ようにしてください。(図-2)  
多少斜め下から斜め上に動かす部分を作ることランダム性が出てより自然な感じに仕上がります。

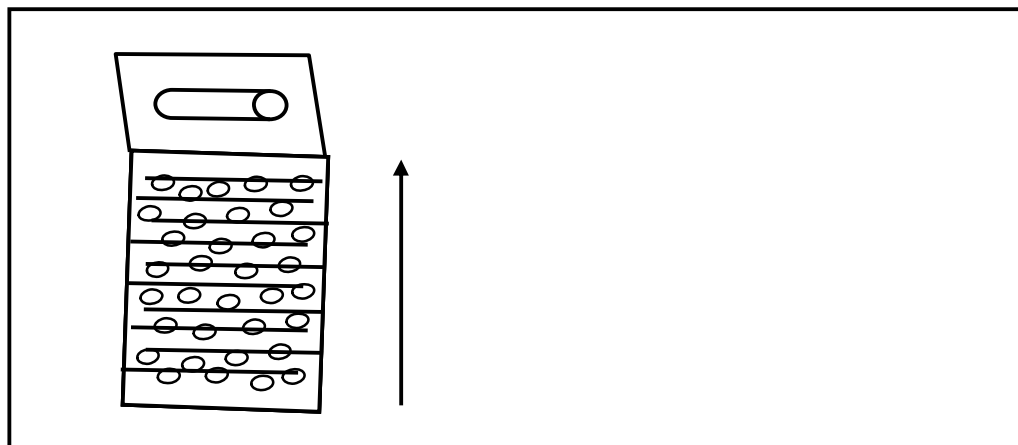


図 - 2

< 施工の注意事項 >

- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認してください。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。  
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 気温 5 以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 冬季の 5 以下での施工の際は、ジョリパットノリーズ JPW-100 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS - 410 をご使用下さい。  
しかしながら、-6 以下、降雨、降雪などの条件下では JPW-100 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・ シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・ 施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗剤水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・ 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上